



QPS 9.2.0.1の既知の問題および解決済みの問題

最終更新日: 1/18/2012

目次

解決済みの問題: QPS 9.2.0.1	3
QPS Server.....	3
QPS Client	3
解決済みの問題: QPS 9.2	3
QPS XTensionsソフトウェア	3
QPS Connect Client.....	4
QPS Web Hub	4
解決済みの問題: QPS 9.1	4
QPS Connect Client.....	5
QPS XTensionsソフトウェア	5
QPS Web Hub	6
解決済みの問題: QPS 9.0	6
QPS Server.....	6
QPS Connect Client.....	6
QPS XTensionsソフトウェア	6
QPS Web Hub	7
QPS SharePoint Repository Adapter	7
QPS 9.2の既知の問題	8
QPS Server.....	8
QPS Connect Client.....	8
QPS XTensionsソフトウェア	10
QuarkCopyDeskとQPS XTensions	12
QPS Web Hub	12
QPS SharePoint Adapter.....	13
律上の注記	14

解決済みの問題: QPS 9.2.0.1

QPS

9.2.0.1で解決された問題の一覧は下記のとおりです。ただし、このバージョンにおけるすべての修正を網羅したものではありません。

QPS Server

- 解決済み: (*Windowsのみ*) Javaランタイムエンジンがインストールされていない場合、QPS Server 9.2アップデートでHSQL QPS databaseが更新されない。(97756)
- 解決済み: QPS Serverを9.2に更新し、“LDAPtemplates.xml”ファイルでLDAPのポートを指定していない場合、更新後にQPS Serverが起動しない。(97759)
- 解決済み: サンプルスクリプト“QxpsmFunctions.js”の`getFileFromDocpool (docName)`関数で、実行時に例外がスローされる。(98355)

QPS Client

- 解決済み: “Quark.QPS.Client.config”ファイルに、ウェブプロキシ設定に関係なくユーザーがQPSにログオンできるような設定が含まれていると、それらの設定がQuarkXPressやQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsモジュールで機能しない。(96917)

解決済みの問題: QPS 9.2

QPS

9.2で解決された問題の一覧は下記のとおりです。ただし、このバージョンにおけるすべての修正を網羅したものではありません。

QPS XTensionsソフトウェア

- 解決済み: 任意のアイテムと、QPSリンクが含まれているコンポジションゾーンアイテムを選択して、Deleteキーを押すか**アイテム > 削除**を選択すると、警告メッセージが表示されずにコンポジションゾーンアイテムが削除される。その後にプロジェクトをQPSにチェックインしようとする時、“CANNOT_DELETE_LAYOUT_HAVING_ATTACHMENTS” (リンクが含まれているレイアウトは削除できません) というメッセージが表示される。(88245)

- 解決済み: App
Studioのリッチ化機能で使用されている不足QPSアセットを、**使用状況**ダイアログボックスの**デジタルパブリッシング**ペインで**更新**ボタンを使用して更新しても、アセットが更新されていない。(AQ-185)
- 解決済み: QPSにログオンして、App
Studioのリッチ化機能でローカルファイルシステムからアセットを使用すると、ログオフ後も**その他のチェックイン**ボタンが有効なままになっている。**その他のチェックイン**ボタンをクリックすると、アプリケーションが突然終了する(Mac OSの場合)、または何も起こらない(Windowsの場合)。(AQ-246)
- 解決済み: App
Studioのインタラクティブオブジェクトで使用されているQPSアセットの名前を変更すると、そのアセットをチェックインして、レイアウトまたはレイアウトファミリーをAVE形式で書き出したときに、名前を変更したアセットが含まれない。アセットが含まれるようにするには、名前を変更したアセットを、**App Studio**/パレットで選択する必要があります。(AQ-524)
- 解決済み:
画像ボックスにリンクされている画像ファイルをチェックアウトして画像編集アプリケーションで編集すると、更新された画像は、QuarkXPressでは正しく表示されるが、PSDやEPSの画像の場合は空白が出力され、その他の形式の画像の場合は低解像度で表示される。(89374)
- 解決済み:
ワークスペースブラウザパレットから画像ボックスに画像をドラッグするときに、マウスポインタが画像ボックスに到達する前にテキストボックス上を通過すると、画像を画像ボックスにドロップできない。(89739)

解決済み: App Studioのインタラクティブ機能が含まれているプロジェクトを、Mac OS上で実行されているQuarkXPress Serverのインスタンスのドキュメントプールに配置し、QPSを使用してそのプロジェクトからApp Studioコンテンツを書き出そうとすると、書き出した.zaveファイルのサイズが0KBになっている。(91787)

QPS Connect Client

- 解決済み:
高さまたは幅が192ピクセルより小さい画像の場合、フィルムストリップ表示のプレビューが非常に小さい。(96918)

QPS Web Hub

- 解決済み: QPSシステムのQuarkXPress Serverのインスタンスが英語以外のロケールで実行されている場合、QuarkCopyDeskアーティクル内のボックスがWeb Hubで正しく表示されない。(95894)

解決済みの問題: QPS 9.1

QPS

9.1で解決された問題の一覧は下記のとおりです。ただし、このバージョンにおけるすべての修正を網羅したものではありません。

QPS Connect Client

- 解決済み: 次の権限が機能しない: 一般 > コレクションテンプレート。(62617)

QPS XTensionsソフトウェア

- 解決済み:
ナビゲーションペインでフォーカスを変更すると、レイアウトでアイテムを選択しても、割り当て、分離、更新などの、レイアウト固有のボタンが無効になる。(52281)
- 解決済み:
ライブラリの読み取り専用コピーをチェックアウトしてからQuarkXPressを終了すると、そのライブラリがコンピュータから削除されない。その後、QuarkXPressを再起動して同じライブラリを読み取り専用モードでチェックアウトしようとする、QuarkXPressが突然終了する。(65456)
- 解決済み: ダイアログボックス警告の環境設定がオフになっていると、音声警告の環境設定 (QuarkXPress/編集 > 環境設定 > Quark Publishing System > 全般 > 通知ペイン) がオンになっていても、QuarkXPressとQuarkCopyDeskで音声警告が機能しない。(68286, 74362)
- 解決済み: (Mac OS 10.5.xのみ)ワークスペースブラウザパレットのプレビューペインで、選択の際にさまざまなアセットの間を急いで移動し、その結果各アセットのプレビューが完全に読み込まれなかった場合、QuarkXPressやQuarkCopyDeskが突然終了することがある。(81150)
- 解決済み: ログオフの警告が表示されていないような状況でQPS Serverとの接続が切断された場合、ワークスペースブラウザウィンドウを閉じるとQuarkXPressが突然終了する。また、ログオフされない。(82745)
- 解決済み: プロジェクトをチェックアウトして、そのプロジェクトからアートを割り当てるか、そのプロジェクトにアートをリンクした後に他のユーザーがそのプロジェクトの属性の編集を開始し、その後自分がそのプロジェクトのチェックアウトをキャンセルすると、割り当てられたボックスが、誤って、リンクがあるものとして設定されたままになっている。続けてこれらのボックスに対して画像を削除または割り当てようとする、QuarkXPressが突然終了する場合があります。(59676)
- 解決済み: 100個を超えるコンポーネントをアートを割り当てると、Mac OSの場合は"HTTP_TRANSPORT_EXCEPTION"、Windowsの場合は"Operation Timed Out"という例外が発生する。(59674)
- 解決済み: コールアウトに関連付けられたコールアウトアンカーが含まれているボックスを選択して、ボックスをアートのリンクとして割り当ててから、そのボックスを複製またはコピーアンドペーストすると、複製されたボックスに関連付けられている複製されたコールアウトがロックされ、ロックを解除できなくなる。(70338, 70478)

QPS Web Hub

- **解決済み**：Wordからペーストボタンを使用してテキスト編集ダイアログボックスでハイパーリンクが含まれているWordのテキストをペーストし、**適用**をクリックすると、エラーメッセージが表示され、操作ができない。(70182)
- **解決済み**：(Mac OS版のChromeのみ) コールアウトが関連付けられているコールアウトアンカーの場所を変更して変更結果を保存しようとしても、変更結果が保存されない。また、アートを再度編集する前にテキスト編集ダイアログボックスをリフレッシュする必要がある。(66808)

解決済みの問題：QPS 9.0

QPS

9.0で解決された問題の一覧は下記のとおりです。ただし、このバージョンにおけるすべての修正を網羅したものではありません。

QPS Server

- **解決済み**：パスワードに特定の英数字の組み合わせが含まれていると、QPS Serverにログオンできない。(62114)
- **解決済み**：QPS Script Managerでスクリプトの名前を変更できない。(43601)
- **解決済み**：QuarkXPressプロジェクト内ですべてのレイアウトのプレビューやサムネールを参照できない。(62103)

QPS Connect Client

- **解決済み**：
(Windowsのみ)スクロールがある場合、コレクションのツリーで、別の場所にアセットをドラッグ&ドロップしにくい。(47025)
- **解決済み**：
(Windowsのみ)コレクションや検索結果をお気に入り領域にドラッグ&ドロップするときに、コレクションや検索結果の配置される場所がわかりにくい。(38390)
- **解決済み**：自動ルーティング規則が適用されていない場合でも、アセットの状況を変更するとルーティング先の値が変更されることがある。(44229)
- **解決済み**：クイックアクセスツールバーにドロップダウンメニュー付きのボタンを追加できない。(50979)

QPS XTensionsソフトウェア

- **解決済み**：アートの間でテキストをコピーアンドペーストすると、それらのアートのスタイルシート、H&J、カラーなどの同じリソースがあっても、テキストフォーマットが変更される。(42467)

- 解決済み:**
 (Windowsのみ)Windowsのユーザー名に東アジア言語の文字が含まれている場合、QPSジョブチケットからプロジェクトを作成できない。(67850)
- 解決済み:**
 QuarkCopyDeskで割り当てられたアートをチェックアウトして、テキストコンポーネントをオーバーフローさせ、再びアートをチェックインして、アートをプロジェクトにリンクすると、オーバーフローテキスト用に新しいテキストボックスが作成される。(51182)
- 解決済み:** Command+A / Ctrl+Aでワークスペースブラウザウィンドウ内のすべてのアセットが選択されない。(73273)
- 解決済み:**無効な画像を別の画像で置き換えようとする、QuarkXPressが突然終了する。(69639)
- 解決済み:**アクティブなレイアウトからアートを割り当てた後にQuarkXPressにカラープロファイルを追加して、同じレイアウト内の別の場所でチェックアウト済みアートをチェックインしようとする、次の警告メッセージが表示される:「ジオメトリの更新中にQCDフィルタAPIで原因不明の例外が発見されました」(36467)
- 解決済み:**
 (Windowsのみ)新規プロジェクトで、用意されているカラーモデル(PANTONE、TOYO、DICなど)のいずれかを使用してスポットカラーを作成し、そのスポットカラーをテキストボックスのテキストに適用し、テキストボックスをアートとして割り当てると、プロジェクトがアートとの関係を失う。その結果、アートをプロジェクトリンクパレットと、検索結果パレットのリンクタブに表示されず、QPS機能を使用しているときにQuarkXPressが突然終了することがある。(31460)

QPS Web Hub

- 解決済み:**アポストロフィまたは引用符が含まれているユーザー名でQPS Serverにログインすると、アートをチェックアウトできない。(61345)
- 解決済み:**ドイツ語のプログラムの言語で、チェックアウトのキャンセルボタンの翻訳が誤っている。(60720)
- 解決済み:**状況フィールドとルーティング先フィールドへのアクセス権限が許可されていない場合でも、アクセス可能になっている。(29754)
- 解決済み:**自動ルーティング規則が適用されていない場合でも、アセットの状況を変更するとルーティング先の値が変更されることがある。(44229)

QPS SharePoint Repository Adapter

- 解決済み:** Windows Server 2008 R2稼働している、ドメインコントローラとして構成されているコンピュータで、SharePointをQPSリポジトリとして定義できない。(58149)
- 解決済み:** QPS Connect Clientを使用して、QPS Homeライブラリでドキュメントライブラリを作成するコレクションを作成すると、そのライブラリに対してSharePoint Wordパーサーが無効になる。(55353)
- 解決済み:** IISでSSLが有効になっている場合、SharePoint Servicesが実行されているコンピュータでSharePointリポジトリを定義できない。(66340)

QPS 9.2の既知の問題

QPS® 9.2で確認されている問題の一覧は下記のとおりです。

QPS Server

- LDAPから取り込まれたユーザーがQPSにアセットをチェックインすると、そのユーザーを取り込むために使用されたLDAPプロファイルを削除できない(QPSからそのLDAPプロファイル内のユーザーをすべて削除しても、LDAPプロファイルを削除できない)。(96363)
- 32ビットまたは64ビットのコンピュータで、QPS Serverに4GB以上のRAMを割り当てできない。(86807)
回避策：QPS Serverのコンピュータに、最新の64ビット版Java Service Wrapperをインストールします。
- コピーテイスティング機能では、CJK文字が含まれているRTFファイルが正しく表示されない。(6771)
- QPS Serverインストーラの韓国語および日本語の一部がローカライズされていない。(10986, 11573)
- **(Windows® のみ)** QPS ServerをTomcatの外部インスタンスで実行するには、オペレーティングシステムが64ビットである必要がある。(73367)
- [drive]:\Windows\Temp\poifilesに作成された一時ファイルが自動的に削除されず、手動で削除しなければ、大量のデータがギガバイト単位で蓄積される。(55283)
- QPSデータベースを更新する際、「UpgradeConfiguration.xml」ファイルでCreateSectionWorkflows指定を設定できない。(49475)

回避策:データベーススクリプトを使用して、レガシーデータベースを更新します。

1. QPS Serverインストーラの「Database」フォルダを、QPS Serverデータベースがあるコンピュータにコピーします。
2. Database/[database type]/Updateに移動し、「UpgradeConfiguration.xml」ファイルを開きます。
3. プロパティ「CreateSectionWorkflows」をfalseに変更します。
4. ファイルを保存して閉じます。

アプリケーションを更新するのではなく、更新スクリプトを使用してデータベースを更新します。これにより、出版ワークフローが作成されますが、セクションレベルのワークフローは作成されません。

- QPS 8.1からQPS 8.5への更新後、保存された検索条件の一部が変更されることがある。(59697)
- IPTC情報を持つ画像をPhotoshop® CS5に保存し、それをQPSにチェックインすると、IPTC情報がQPSに表示されない。ファイルがJPEGの場合、その属性を編集しようとしてチェックインすると、「XMLドキュメントにエラーがあります(1, 16023)」というアラートが表示されることがある。(55973)

QPS Connect Client

- システム定義の必須属性の名前(名前、ワークフロー、状況など)が2つのシステムの間で異なる場合、2つのシステム間でアセットを複製できない。(88250)

- 前のリビジョンの複製または復元したプロジェクトに戻すと、プロジェクトのリンクが分離される。(86027)
- 旧バージョンのQPSからのリビジョンとともにアーカイブしたQuarkXPressプロジェクトを、QPS 9.1で復元できない。(89127)
- (Windowsのみ) アーカイブ時にプロジェクトおよびリンクされているアーティクルを選択したが、復元時にプロジェクトのみ選択した場合、アーティクルが復元されない。同様に、アーカイブ時にアーティクルおよびリンクされている画像の両方を選択したが、復元時にアーティクルのみを選択した場合、画像が復元されない。(87665)
- (Windowsのみ) リスト表示、フィルムストリップ表示、および詳細サムネール表示で、印刷コマンドおよび印刷プレビューコマンドが無効である。(51301)

回避策: 検索結果の書き出しコマンドを使用します。

- 多数のアセットを返す検索とともに使用した場合、QPS Connect Clientですべて選択コマンドを実行しても、すべてのアセットが選択されない。Windows®では、検索結果の中で矢印キーとPage Up/Page Downキーが機能しない。(47048, 58763)
回避策: “com.quark.qpp.client.QPS Connect Client.config.plist” ファイル (Mac OS) または “QPS Connect Client.exe.config” ファイル (Windows) を開き、LazyLoadingModeをNO_LAZYLOADINGに設定します。
- 検索結果ペインでアーティクルが展開されている場合、それらのコンポーネントがステータスバーのアセットのカウントに含まれる。(52060)
- (Mac OSのみ) Photoshop CS4で開いている複数のチェックアウト済み画像ファイルの1つをチェックインしようとすると、全ファイルが閉じてしまう。また、Photoshop CS4で画像ファイルを開き、対応するタブを選択しないままチェックインすると、チェックイン後に画像ファイルが開いたままとなる。(10899)
回避策: Adobe Photoshop CS4の環境設定 > インターフェイスペインおよびAdobe Illustrator CS4の環境設定 > ユーザーインターフェイスペインにあるタブでドキュメントを開くオプションをオフにします。
- QPS Connect Client管理者が、CJK言語それぞれのフォーマット機能の権限をQuarkCopyDeskで指定できない。(467229)
- 検索に複数の行がある場合、先頭行を削除できない。(4851)
- 次の権限が機能しない: コレクションの参照を許可 (ワークスペースの、QuarkCopyDesk用QPS XTensions、QuarkXPress用QPS XTensions、QPS Web Hub)。(66952)

QPS XTensionsソフトウェア

- ePUBのレイアウトタイプでレイアウトを作成して、リフロービューで画像をカバーまたは画像コンポーネントにリンクし、画像をチェックアウトして変更を加え、更新した画像を再びチェックインして、ePUB形式でレイアウトを書き出すと、レイアウト内で画像を更新する必要があることを示す警告が表示されず、書き出されたePUBファイルに、古いバージョンの画像が含まれている。(95742)

回避策: 書き出す前に、画像を手動で更新します。

- リフロービューで作業しているときにQPSプロジェクトのリビジョンを保存すると、カバーレイアウトがアクティブになる。(95769)
- App
Studioのリッチ化機能やePUBインタラクティブ機能を使用している画像ボックスがQPSプロジェクトに含まれていて、それらの画像ボックスのうち2つで、同じ名前の2つの異なるファイルを使用していると、問題が発生する可能性がある。このようなプロジェクトのリビジョンを保存してePUB形式またはAVE形式でレイアウトを書き出すと、同じ名前のファイルのうち一方が2度ダウンロードされ、両方の画像ボックスに表示される。(96671, 96672, 96673)
- “Quark.QPS.Client.config”ファイルに、ウェブプロキシ設定に関係なくユーザーがQPSにログオンできるような設定が含まれていると、それらの設定がQuarkXPressやQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsモジュールで機能しない。(96917)

回避策: 下記のテキストを、(アプリケーションフォルダのルートにある)各アプリケーションのconfigファイルの<configuration>ノードにコピーアンドペーストします。QuarkXPressの場合、このファイルの名前は“QuarkXPress.exe.config”です。QuarkCopyDeskの場合、このファイルの名前は“QuarkCopyDesk.exe.config”です。ファイルが存在しない場合は、ファイルを作成する必要があります。

```
<system.net>
  <defaultProxy enabled="true" useDefaultCredentials="false">
    <module type="Quark.QPS.Client.UICore.CustomWebProxy,
Quark.QPS.Client.UICore"/>
  </defaultProxy>
</system.net>
```

- QPS Client 9.0を独自の場所 (Applications/ABCなど) にインストールすると、Connect Clientアプリケーションが、その場所の“QPS Client”フォルダ内 (Applications/ABC/Quark Publishing System/QPS Client/QPS Connect Client.appなど) にインストールされる。QPS 9.1のインストーラ/アップデートを実行して同じインストール先を選択すると、インストーラ/アップデートでConnect Clientがアップデートされず、代わりに、そのインストール先 (Applications/ABC/QPS Connect Client.appなど) にConnect Client 9.1がインストールされる。(87132)

回避策: インストール先/アップデート先のフォルダとして、(Applications/ABC/Quark Publishing System/QPS Clientなど) 既存のConnect Clientアプリケーションの親フォルダを選択します。

- QPSアセットを使用しているApp
Studioのインタラクティブ機能が含まれたプロジェクトのコピーを取り込むと、(補助メニューの) 使用状況ダイアログボックスのデジタルパブリッシングペインにそれらのアセットが表示されない。このため、それらのアセットを更新できない。(86782)

- QPS 9.1
 Clientのインストーラ／アップデータを実行する前にQuarkXPressアプリケーションファイルの名前を変更すると、QPS XTensionsソフトウェアがQuarkXPressアプリケーションフォルダにインストールされない。代わりに、QPS Connect Clientアプリケーションフォルダ内の“For QuarkXPress”フォルダにインストールされる。この場合、QuarkXPressアプリケーションフォルダ内の“XTensions”フォルダにあるこれらのXTensionsを、手動でインストールできます。(88331)
- App
 StudioのインタラクティブオブジェクトでQPSからの画像ファイルを使用し、画像ファイルをチェックアウトして変更してから再びチェックインすると、(補助メニューの)使用状況ダイアログボックスのデジタルパブリッシングタブでは、その画像が**変更**として正常に表示されるが、その後画像を選択して**更新**をクリックすると、画像の状況が**OK**に変わらず、**App Studio**パレットのプレビューが更新されない。ただし、変更した画像は正常に出力される。(AQ-186)
- **App**
Studioパレットを使用して画像、画像のスライドショー、またはビデオのインタラクティブオブジェクトを作成するとき、App Studioで対応していない形式のQPSアセットを選択できるが、対応していない形式のファイルを選択すると、**App Studio**パレットに進行状況バーが表示され、プレビューは表示されない。(AQ-227)
- App
 Studioのインタラクティブオブジェクトで使用されているQPSアセットの名前を変更すると、そのアセットをチェックインして、レイアウトまたはレイアウトファミリーをAVE形式で書き出したときに、名前を変更したアセットが含まれない。アセットが含まれるようにするには、名前を変更したアセットを、**App Studio**パレットで選択する必要があります。(AQ-524)
- 画像をマスターページの複数の画像ボックスにリンクしてから、それらのボックスを選択し、Shift+Deleteを押すと、QuarkXPress®が突然終了する。(29840)
- (Windows 7のみ) ディスプレイの解像度(DPI)比率を125%または150%に上げると、QPS環境設定([アプリケーション名]／編集 > 環境設定 > QPS)のユーザーインターフェイスが正しく表示されず、チェックアウト済みアセットのリビジョンの表示ダイアログボックス(QPS > [アセット]のリビジョンを表示)に編集不可ボタンが表示されず、リビジョンの保存ダイアログボックスおよびチェックインダイアログボックスにOKボタンおよびキャンセルボタンが表示されない。(11918, 11919)
- QuarkXPressまたはQuarkCopyDeskでPDF Filter XTensions®モジュールを無効にすると(補助 > XTensionsマネージャー)、QPS XTensionsソフトウェアがロードされない。(8035)
- QPS
 8.1以上で作成または変更されたQuarkXPressプロジェクトに、画像コンポーネントのあるアティクルが含まれている場合、8.1.6.2への更新後、最初にプロジェクトをチェックアウトしたとき、QuarkXPressにジオメトリに相違ありと表示される(この問題は、[conf/ServerApp.properties](#)ファイルで`allow.pic.formatting.without.article.checkout = Yes`の場合には発生しない)。

回避策：
 ジオメトリを更新します。テキストがリフローしたり、コンテンツが失われたりすることはありません。

- QuarkCopyDeskで画像コンポーネントを持つアートをチェックアウトし、そのコンポーネントの画像をQuarkXPressでチェックアウトし、拡大縮小などの属性を変更した後その画像をチェックインし、最後にQuarkCopyDeskからアートをチェックインすると、画像の拡大縮小の変更が失われる。(4087)
- マスターページに画像ボックスを作成する場合、イメージをリンクし、画像ボックスをControlキー+クリック/右クリックし、**オリジナルを編集**を選択し、画像ファイルを編集してから、画像の使用状況(**補助 > 使用状況**)で画像を更新すると、このマスターページから派生したページごとに更新後の画像の新しいリンクが作成される。また、派生ページの画像ボックスが、マスターページの画像ボックスへのリンクを失う。(35120)
- マスターページがアクティブであると、**QPS > 画像のあるプロジェクトのチェックイン**コマンドが無効になる。(30011)
回避策:レイアウトページに移動してから、このコマンドを選択します。
- アートのジオメトリをアートテンプレートのジオメトリに置換してから、そのジオメトリを置換する前に保存したプロジェクトのリビジョンに復帰させようとする、QPSが「問題のあるリンク」ダイアログボックスを表示し、アートをレイアウトから分離する。(25979)
- アートをページの余白部分にドラッグし、その後リンクをキャンセルしたにもかかわらず、アートのリソース(スタイルシートやカラーなど)がプロジェクトに追加される。(23653)
- **条件付きスタイルパレット**で条件付きスタイルの名前を、Ctrlキーを押しながらクリックもしくは右クリックして、**編集**を選択しても、チェックアウト済みアートの条件付きスタイルの定義を表示できない。(64541)
- (Mac OS®のみ)コンポーネントタイプを指定せずにアートをチェックインしようすると、エラーメッセージが表示される。その後チェックインをキャンセルすると、QuarkXPressが突然終了する。(50690)
- QuarkXPressからアートを割り当て、それをQuarkCopyDeskで更新し、アートのコンテンツをQuarkXPressで更新した後、**編集 > ロックの取消し**を2回選択すると、アートのロックが解除され、QuarkXPressで編集可能になる。(66046)
- マスターページに画像をリンクして、そのマスターページが含まれているレイアウトを複製し、複製したレイアウトでマスターページから画像を削除しようすると、エラーメッセージが表示され、画像を削除できない。(71635)

QuarkCopyDeskとQPS XTensions

- QuarkCopyDeskユーザーがQuarkXPressからの更新済みジオメトリの通知を認識すると、QuarkCopyDeskアートウィンドウの画面上のサイズや位置が変わる。(464541)
- **変更内容(選択済み/表示済み/すべて)の同意と拒否**の権限がない場合、変更履歴がオンのときに縦組みでルビや縦組み用グループ化文字の機能を使用できない。(70826)
- あるコンポーネントをアートから削除するときに、そのアート内に、コールアウトとコールアウトアンカーを持つ別のコンポーネントがある場合、後者のコンポーネントのコールアウトが削除される。(73176)

QPS Web Hub

- 画像ボックスの作成、画像の取り込み、画像ボックスの共有、Multiple Article XTensionsソフトウェアで画像ボックスをアートに追加、プロジェクトをチェックイン、Web Hubでプロジェクトをチェックアウト、画像の置き換え、プロジェクトをチェックイン、QuarkXPressでプロジェクトをチエ

ックアウト、という順に操作すると、新しい画像が表示されない。(86057)

- ローカルフォーマットが適用されていない単語が選択内容の途中に含まれていると、**スタイルシートの適用とローカルフォーマットの削除**コマンドでローカル文字フォーマットを削除できない。(80263)
- (Microsoft Internet Explorer、Google Chromeのみ)コンポーネントでテキストをコピーアンドペーストして**適用**をクリックしても、ペーストされたコンテンツがページプレビューに表示されない。(67271)

回避策 (Microsoft Internet Explorerの場合) ツール >

インターネットオプションを選択して、**セキュリティタブ**をクリックし、**インターネット、レベルのカスタマイズ**の順にクリックして**スクリプトセクション**に移動し、**スクリプトによる貼り付け処理の許可**で**無効にする**をクリックします。次に、**セキュリティタブ**に戻り、**ローカルイントラネット**をクリックして、同じように設定します。

- 名前にスペースが2つ連続している箇条書きスタイルやアウトラインスタイルを使用しようとする、テキスト編集ダイアログボックスで**適用**をクリックしたときに、原因不明のエラーが表示される。(70196)
- (Firefoxのみ)
ペーストダイアログボックスが表示される前にペーストのキーボードコマンド (Command+V / Ctrl+V) をすばやく2回押すと、エディタウィンドウが応答しなくなる。(67271)

回避策: ブラウザウィンドウをリフレッシュします。

- 箇条書き自動番号スタイルが含まれている段落スタイルシートをテキストに適用して、その箇条書き自動番号スタイルを箇条書き記号スタイルで上書きし、アーティクルでストーリーを割り当てると、テキスト編集ダイアログボックスに、箇条書き記号スタイルのアイコンではなく、箇条書き自動番号スタイルのアイコンが表示される。(69564)
- プロジェクトテンプレートからプロジェクトを作成して、プロジェクトをチェックインする前にリビジョンを保存すると、**コレクション**や**ワークフロー**など、必須の属性フィールドの一部が無効になる。(72118)
- ジョブチケットからアーティクルを作成し、条件付きスタイルで、箇条書きスタイルを使用している段落スタイルをテキストに適用し、その段落のインデントレベルを増やすと、簡易アウトラインスタイルがその段落に適用される。(70748)
- (Internet Explorerのみ) ノート、縦組み用グループ化文字、ルビ付きのテキストを段落の最後に配置すると、ノート、縦組み用グループ化文字、ルビのアイコンの後ろの位置にテキストカーソルを移動できない。(69790)
- ウェブレイアウトが含まれているプロジェクトをプレビューまたはチェックアウトできない。(68277)

QPS SharePoint Adapter

- リンクされた画像が含まれているアーティクルをチェックインして、**QPS以外のコピーを作成**コマンドでそのアーティクルをコピーし、コピーしたアーティクルをQPSに割り当ててMacでチェックアウトし、ファイルのリビジョンを保存しようとする、リンクされた画像の状況が**移動**になっていることを示す警告が表示される。(96136)
- ホームページを作成しないでSharePointをインストールしてからサイトのコレクションを作成すると、SharePointのシステムをQPSのリポジトリとして使用できない。(79937)

回避策: ホームとするSharePointのURLにサイトを作成し、<http://computername>などのURLでSharePointにアクセスできるようにします。

- **(Internet Explorer 9のみ)** アーティクルやプロジェクトをプレビューまたは編集した後に、親ウィンドウに戻れない。(87944, 87945)
- QuarkXPressから割り当てた.docxファイルで、QPS以外のコピーを作成できない。また、コンテキストメニューを使用してQPSからそのファイルを削除しても、引き続きQPSアセットとして表示される。(87283)
- QuarkXPressファイルをコレクションにチェックインして、チェックアウト、リビジョンの保存を行ってから別のコレクションにチェックインしようとする、"アセットがロックされています"というメッセージが表示されることがある。(87278)
- SharePointをリポジトリとして使用していると、感嘆符で終了する名前("File!.qcd"など)のQPSアセットを複製できない。(84876)
- 接続文字列にSharePointのコンピュータのホスト名ではなく、IPアドレスを使用すると、SharePointリポジトリを作成できない。(82632)
- SharePointをリポジトリとして使用している場合、SharePoint以外のクライアントからアセットとともにコレクションやコレクションのコピーを移動しても、その変更がSharePointのサイトの階層に反映されない。(84836)
- SharePoint
Wordパーサーが有効な場合に、.docxファイルでSharePointの**QPS以外のコピーを作成**コマンドや**QPSから削除**コマンドを正常に使用できない。(64356, 64694)
- SharePoint Wordパーサーが有効な場合に、**Microsoft Wordで編集**コマンドを使用して.docxファイルのマイナーバージョンを作成できない。また、Microsoft Wordからドキュメントをチェックインするときに、**ドキュメント**などの、最初のオプション以外のオプションを選択すると、エラーメッセージが表示される。(64549, 68590).
- データシート表示、ガント表示、およびアクセス表示で、QPSアセットに対する一部の操作が正しく機能しない。(52718)
- QPS Homeライブラリにあるドキュメントライブラリのアセットに対し、SharePoint Manage Copies機能が動作しない。(50924)
- QPS
Homeライブラリで、SharePoint表示のSharePointインライン編集機能が有効な場合、画像のチェックアウトまたはチェックアウトした画像のチェックインを破棄しようとする、エラーアラートが表示されることがある。(50905)
- QPSライブラリでエクスプローラ表示 (ライブラリ > **Windows** エクスプローラで開く) を選択すると、チェックアウトしていないアセットを変更でき、変更がSharePointに反映されない。(55822)

律上の注記

© 1986-2012 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

米国特許番号5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843および出願中の特許によって保護されています。

Quark、Quarkロゴ およびQuarkXPressは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。